

令和 4 年度 火山防災訓練実施結果

令和 5 年 3 月 2 3 日

福島県災害対策課

1. 吾妻山火山防災訓練の実施

資料 7

○ 火口周辺における噴火対応訓練

【対象火山】

吾妻山

【訓練形式】

図上訓練（1日目：噴火発生前後の防災対応）

実動訓練（2日目：行方不明者の捜索・救助活動）

【訓練結果】

◆図上訓練 実施日：令和4年9月7日（水）
会場：各機関の執務室 等（情報伝達訓練）
参加：13機関（市町村、警察、消防、自衛隊、国機関 等）
訓練内容：登山者情報、下山状況の情報収集及び情報の共有

◆実働訓練 荒天により中止実施予定日：9月8日（木）

【主な振り返り】

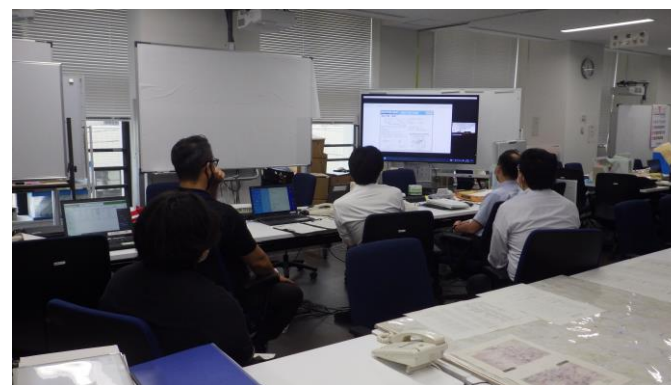
- ・概ね避難計画に沿った対応ができた一方、実際の動きに繋がられるかが課題
- ・大雨等と異なり滅多に発生しない災害なので、改めて防災対応を確認できた
- ・情報共有の重要性を再認識した、情報収集・共有に努める対応が必要 等

1. 吾妻山火山防災合同訓練の実施

資料 7

【吾妻山火山防災訓練】 ※県庁内の様子

〔事前基礎研修 解説：福島地方気象台 松村 火山防災官〕



〔図上訓練 付与された状況に基づき関係機関で情報共有・対応調整〕



○ 居住地域に影響の及ぶ火山災害を想定した防災訓練

【対象火山】

安達太良山

【訓練方式】

図上訓練（噴火⇒レベル4の各段階における防災対応）

【訓練結果】

実施日：令和5年1月23日（月）

参加：17機関（市町村、消防、警察、国機関、周辺スキー場 等）

訓練内容：噴火警報（居住地域）発表に伴う住民避難対応、負傷者等の
情報収集・共有、降灰による道路被害への対応 等

【主な振り返り】

- ・ 冬季の噴火では被害想定範囲がかなり広くなるため、避難対象地域の選定に苦慮した
- ・ スキー場が参加したのは良いことだと思う、今後の訓練では宿泊施設なども参加すると良いのではないか
- ・ 特定地域の住民（利用客含め）も巻き込んだ実避難を伴う訓練を実施すると良いのではないか

等

2. 安達太良山火山防災合同訓練の実施

資料 7

【安達太良山火山防災訓練】 ※県庁内の様子

〔事前基礎研修 解説：磐梯山噴火記念館 佐藤 館長
福島地方気象台 松村 火山防災官〕



〔図上訓練 付与された状況に基づき関係機関で情報共有・対応調整〕

